

『人間開発報告書 2006』

人間開発指数で見る各国の状況：日本の場合

1990年の発行以来、『人間開発報告書』(HDR)は国内総生産(GDP)よりも更に広義にわたって人々の生活の充足度を計るために、人間開発指数(Human Development Index; HDI)を算出しています。HDIとは人間開発を1.出生時の平均余命から算出される「健康的で十分な寿命の生活」、2.成人の識字能力および初等・中等・高等教育就学率から算出される「教育を得る機会」、3.購買力平による調整済みの所得から算出される「適正な生活水準」の3つの側面から複合的に測定したものです。しかし、この指数は不平等の存在のような重要な指標や人権の尊重、政治的思想の自由などのような計測が困難な指標を含んでいないため、人間開発を包括的に捉えた指標ではなく、人類の進歩そして所得と生活の充足度の複合的な関係を幅広く多角的に捉えることを目的とするものです。

2006年度のHDIは2004年の統計数値に基づいた指標であり、日本のHDIは0.949、データ集計された世界177カ国中第7位となっています。表1に見られるようにHDIは所得のみならず、いろいろな側面から計測されるため、より多角的に開発の現実を反映したものとされています。

表1 HDI値(2004年)

HDI 値	出生時平均余命 (歳)	初・中・高等教育の 総就学率 (%)	一人当たり GDP (PPP US\$)
1位 ノルウェー(0.965)	1位 日本 (82.2)	1位 オーストラリア(113.3)	1位 ルクセンブルグ(69,961)
5位 スウェーデン(0.951)	2位 中国、香港 (81.8)	39位 スイス(85.7)	16位 スウェーデン(29,541)
6位 カナダ(0.950)	3位 アイスランド (80.9)	40位 ブラジル(85.7)	17位 フランス(29,300)
7位 日本(0.949)	4位 スイス(80.7)	41位 日本(85.5)	18位 日本(29,251)
8位 アメリカ合衆国(0.948)	5位 オーストラリア (80.5)	42位 バーレーン (85.4)	19位 ドイツ(28,303)

9位 スイス (0.947)	6位 スウェーデン (80.3)	43位 ウクライナ (85.1)	20位 イタリア (28,180)
177位 ニジェール (0.311)	177位 スワジランド (31.3)	172位 ニジェール (21.5)	172位 シエラ・レオネ (561)

今年度の HDI は、生活の充足および人生に得ることのできる機会における大きな格差が、この相互に関連しあう世界を分断し続けていることを浮き彫りにしています。HDI は人々の生活や機会に関わる根本的な事柄を評価することによって、GDP よりも詳しく国々の開発の実像を描き出すことが可能です。図 1 が示すように、日本と同レベルの HDI 値を有する国であっても平均余命や所得の面ではまったく違う国々もあるのです。

図 1 HDI は GDP よりも、より開発の実像を描き出す

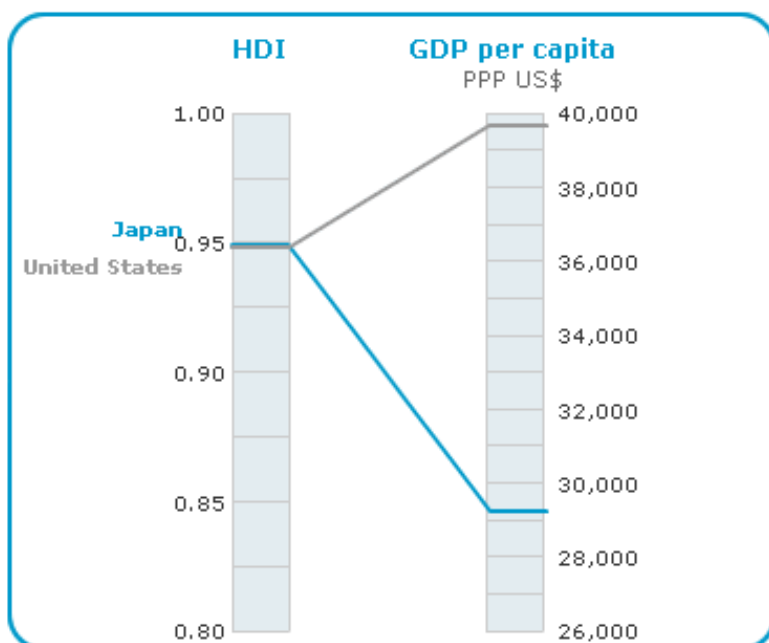
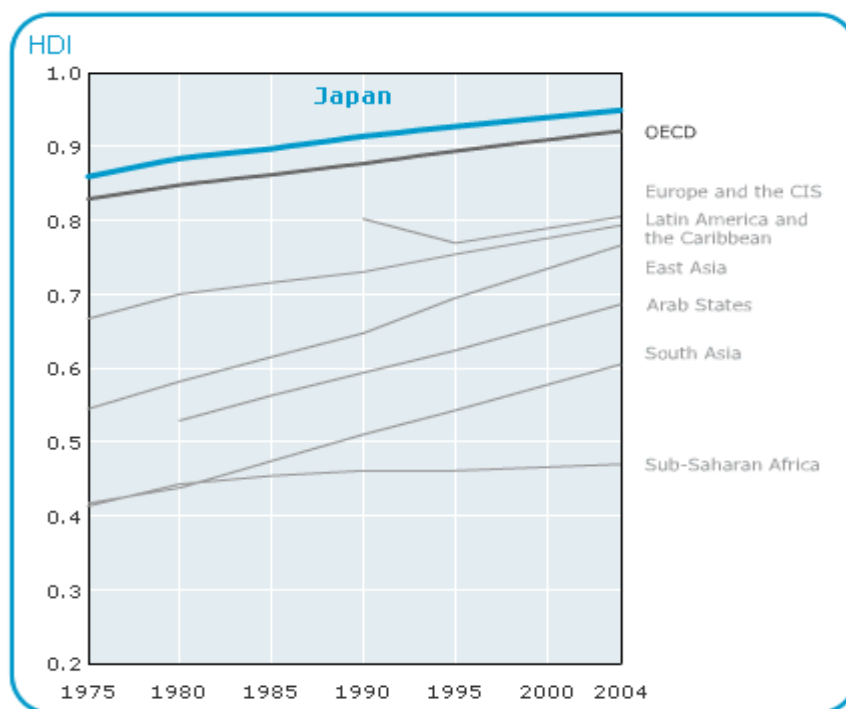


図2 各地域におけるHDIの動向



HDIの動向からは重要な傾向を読み取ることができます。図2に見られるように1970年代半ばから、地球上のほとんどの地域でHDIは徐々に上昇しています。東アジアと南アジアでは1990年以降、加速的にHDIが向上しています。中央・東ヨーロッパおよびに独立国家共同体(CIS)では90年代前半にHDIは壊滅的に低落したものの、その後に低落前のHDI値まで回復しています。例外なのはアフリカのサハラ砂漠以南(サブサハラ)地域で、1990年以降にHDIの上昇が見られていません。これは経済の低迷、そして何よりもHIV/エイズが人々の生活に悲惨な影響を与えていることが原因にあげられます。

女性の能力を構築する重要性

HDIはその国の平均的な達成率を示すものですが、ジェンダーによる不均衡は算出する際に組み込まれていません。1995年からは、HDIを算出する際に用いる指標における男女間での達成率の違いを計るため、ジェンダー開発指数(Gender Development Index; GDI)が採用されました。GDIはジェンダー間の不平等を示すためにHDIに下方修正を行ったもので、基本的な人間開発の分野においてジェンダー格差が大きいほどHDIに対してGDIが低くなります。

日本はHDI値0.949に対してGDI値は0.942、99.3%となっています。人間開発報告書2006では、136カ国中68の国々がHDI値とGDI値を比較した場合に、このパーセンテージよりも

高い比率を示しており、ジェンダー間の格差が少ないと報告しています。

表2は日本のHDI値、GDI値の比、GDI値を算出する際に使用された指標を他の国々と比べたものです。

表2 HDIとGDIの比較—ジェンダー格差の指標（2004年）

GDIとHDIの比(%)	出生時平均余命(歳) 男性に対する女性の余命 (%)	初・中・高等教育の総就学率(%) 男性に対する女性の割(%)
1位 ルクセンブルグ(100.4%)	1位 ロシア連邦(122.4%)	1位 アラブ首長国連邦(126%)
67位 マケドニア(99.3%)	42位 フランス(109.3%)	121位 マラウイ(97.9%)
68位 オーストリア(99.3%)	43位 カーボヴェルデ(109.3%)	122位 セントビンセントおよび グレナディーン諸島(97.7%)
69位 日本(99.3%)	44位 日本(109%)	123位 日本(97.7%)
70位 ナミビア(99.3%)	45位 ポルトガル(109.%)	124位 チリ(97.7%)
71位 ガーナ(99.3%)	41位 エルサルバドル(108.9%)	125位 アゼルバイジャン(97.5%)
136位 イエメン(94%)	191位 ケニア(95.8%)	189位 アフガニスタン(40.9%)

ジェンダー・エンパワーメント指数(Gender Empowerment Measure; GEM)は、政治と経済に女性が積極的に参加しているかどうかを示す指標です。議会における女性議員の席数、議員だけでなく政府高官や企業管理職に占める女性の割合、専門職や技術職における女性の割合、そして収入におけるジェンダー格差を反映する推定勤労所得比率などを集計しています。GDIと違いGEMは、対象国での機会に対するジェンダー間の不平等を映し出します。

日本のGEMは0.557で75カ国中42位でした。

日本の順位について（前年との比較）

人間開発指数(HDI)

	2005(2003)	2006(2004)
順位	11/177	7/177
HDI	0.943	0.949
出生時平均余命	82.0	82.2
初・中・高等教育の総就学率	84	85
一人あたり GDP	27,967	29,251

今年度の順位は、健康、教育、経済全ての項目で向上が見られたこと、特に一人あたり GDP の向上が HDI の向上に貢献したことにより上昇しています。

ジェンダー・エンパワーメント指数(GEM)

	2005(2003)	2006(2004)
順位	43/80	42/75
GEM	0.534	0.557
女性の国会議員数*	9.3	10.7
女性の議員、高官、管理職*	10	10
女性の専門職と技術職*	46	46
女性の男性に対する推定勤労所得比率	0.46	0.44

*全体に占める割合（％）

2005 年の衆議院選挙により女性の国会議員数が増え、それにより GEM 値にも上昇が見られましたが、女性の男性に対する推定勤労所得比率は低下しています。女性の議員、高官、管理職および女性の専門職と技術職も横ばいでした。